



先週  
の  
ドル  
円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週  
の  
相場  
概況

9日

ドル円は米長期金利の上昇を背景に底堅く推移した。ムニューシン米財務長官が「米経済がリセッションに陥る恐れはない」との見解を示したことも好感され、一時107.27円まで値を上げた。

10日

トランプ米大統領が翌週に米中貿易協議を行うことを示唆すると、米中対立の緩和期待から投資家のリスク志向が改善。「中国は米国の一連の関税の遅延と通信大手ファーウェイに対する規制緩和と引き換えに米国農産品の購入を申し出た」との報道が伝わったこともあり、ドル円は107.59円まで上げ幅を広げた。

11日

「中国は米製品の関税適用除外リスト第1弾を公表する」との報道が伝わるなか、ドル円は前日からの買いの流れが継続。ダウ平均が約1カ月半ぶりの高値をつけたこともあり、一時107.86円まで上昇した。

12日

ドル円は米中通商協議に絡んだ報道で乱高下。トランプ米大統領が「対中関税引き上げを10月1日から15日に延期」と述べたことで、一時108.17円まで上昇。海外時間に入って「米政権は中国との暫定合意を全く検討していない」との米政府高官発言が伝わると107円台後半まで失速したものの、その後は株高を背景にした買い戻しが入り、引けにかけて108.19円まで反発した。

13日

トランプ米大統領が「中国との完全な合意を望む。暫定も検討する」と発言したことを受けて、ドル円は一時108.26円まで上昇。いったんは伸び悩む場面も見られたが、米長期金利が上昇した影響もあり、総じて底堅く推移した。

総括

先週のドル円は堅調に推移した。米国・中国の双方から歩み寄りの姿勢が見られるなか、投資家のリスク志向改善を意識した買いが優勢となった。株高や米長期金利の上昇も相場の支えとなり、週末13日には一時108.26円と8月1日以来の高値を更新した。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
11日	21:30	水	USD	PPI	前月比	8月	0.2%		0.0%	0.1%
12日	08:50	木	JPY	機械受注	前月比	7月	13.9%		-9.9%	-6.6%
12日	20:45	木	EUR	ECB政策金利	*	*	0.00%		0.00%	0.00%
12日	21:30	木	EUR	ECB総裁会見	*	*	*	*	*	*
12日	21:30	木	USD	CPI	前月比	8月	0.3%		0.1%	0.1%
13日	21:30	金	USD	小売売上高	前月比	8月	0.7%	0.8%	0.2%	0.4%
13日	23:00	金	USD	消費者態度指数	*	9月	89.8		90.9	92.0

一言コメント・・・ECBは中銀預金金利の引き下げとフォワードガイダンスの変更、さらにQE再開を決めました。発表直後はユーロ売りで反応しましたが、QEの期間や効果などについて懐疑的な見方が広がると急速にショートカバーが広がりユーロ高が進みました。

## 先週の注目された要人発言

9日21:29 ムニューシン米財務長官「来年更なる税金の引き下げを検討」「米国がリセッション入りするとは思わない」「中国との次の交渉では為替についても話し合う」  
 10日08:56 トランプ米大統領「中国は貿易協定を望んでいる」「中国と来週協議する」「ボルトン米大統領補佐官(国家安全保障担当)を解任した」  
 11日13:39 環球時報編集長「中国は貿易戦争の影響を緩和する措置を講じる」  
 11日14:41 中国「9月17日付けで米製品への関税の適用除外リストを発効する」「トウモロコシ、大豆、豚肉は第1次適用除外リストに掲載しない」  
 11日19:46 トランプ米大統領「FRBは政策金利を0%か、それを下回る水準まで引き下げるべき」  
 12日08:21 トランプ米大統領「中国への追加関税発動を10月1日から10月15日に延期する」  
 12日21:43 ドラギECB総裁「著しい下振れリスクの持続を見込んでいる」「長期に渡ってより拡張的な政策が必要」「ECBは必要であればあらゆる手段をとる用意がある」  
 13日06:58 トランプ米大統領「中国との完全な合意を望む。暫定も検討する」「中間所得層向けの減税を来年発表する予定」  
 13日10:25 劉鶴中国副首相「米中の通商交渉担当者が、来週協議する予定」「米中通商協議が進展する可能性が高い」

一言コメント・・・対外強硬派で知られたボルトン米大統領補佐官が更迭され、地政学的緊張が緩和に向かうとの見方が広がりました。米中関係については「関税延期」や「暫定合意検討」といった市場心理を好転させるワードが出てきました。マーケットはリスク・オンの様相が強まり世界的に株高が進んでいます。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
18日	27:00	水	USD	FOMC政策金利	*	*	2-2.25%		1.75-2%
18日	27:30	水	USD	FRB議長会見	*	*	*	*	*
19日	未定	木	JPY	日銀政策金利	*	*	-0.10%		
19日	15:30	木	JPY	日銀総裁会見	*	*	*	*	*
19日	16:30	木	CHF	SNB政策金利	*	*	-0.75%		-0.75%
19日	20:00	木	GBP	BOE政策金利	*	*	0.75%		0.75%
19日	未定	木	ZAR	SARB政策金利	*	*	6.50%		6.50%

今週の注目は・・・日米金融政策イベント

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。